

国民生活産業・消費者団体連合会

小冊子「男の『ちょいカジ』 マニュアル」配布呼びかける

国民生活産業・消費者団体連合会（略称、生団連）では、家事の知識が不足している男性をターゲットにした家事参加のきっかけ作

りを目指す小冊子「男の『ちょいカジ』マニュアル」（写真）の配布及び周知の協力を呼びかけている。

「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定され、ダイバーシティの促進は企業の競争力強化にとって必須の条件となりつつあり、中



でも大きな潜在力を持つ女性の活躍が喫緊の課題となっている。しかし、OECD（経済協力開発機構）の調査では、日本は男女の家事労働時間の差がワースト2位であり、「女性に差別とペナルティが存在する」と指摘されている。

こうした環境の変化と生活者の声を踏まえ、生団連では「男性家事参加推進プロジェクト」として、「買エル

マン」による行動喚起に続き、今回新たに「男の『ちょいカジ』マニュアル」を始動した。

同小冊子は、全国400人のアンケートによる「パパにやってほしい家事ベスト10」で、ママの気持ちを知ることからスタート。更に、「お願いに応えたい」、「力仕事に自信」、「スキマ時間」の3タイプのパパに合わせた身近な家事のコツが満載となっている。